

◇Wolf Motor Function Test (WMFT)◇

患者名:

評価者

①

②

③

④

[評価法] * 机の高さは70cm

・各動作を口頭で2回説明し,検査者が見本を示す(患者は練習しないこと).

・上記の動作をなるべく速く行ってもらい,それぞれの課題遂行時間を記録する.

・麻痺側上肢のみでの課題遂行が基本だが,困難であれば健側上肢の介助にて課題を実施する.

・動作の質は6段階(0~5)で評価し,Functional Ability Scale(FAS)の欄に記入する.

・120秒かかる場合や動作が不可能な場合は,中断し120秒として記録する.

※ビデオを撮りましょう

評価項目	評価日:		評価日:		評価日:		評価日:	
	時間 0.01	FAS	時間 0.01	FAS	時間 0.01	FAS	時間 0.01	FAS
● 机に対して横向き座位(課題2でset positionを決定:机端から箱までの距離 cm) start position:1は膝,2~4はテーブル								
1. 前腕を机へ:肩の外転を用いて前腕を机の上に乗せる. 教示:「腕を机の上のせてください」	秒		秒		秒		秒	
2. 前腕を箱の上へ:肩の外転を用いて前腕を箱の上に乗せる. 教示:「腕を箱の上のせてください」 箱: 号	秒		秒		秒		秒	
3. 肘の伸展:肘を伸展させ,机の反対側へ手を伸ばす. 教示:「手をボードの端まで伸ばしてください」	秒		秒		秒		秒	
4. 肘の伸展・負荷あり:肘の伸展により重錘(450g)を机の反対側へ移動させる. 教示:「重錘をボードの端まで動かしてください」	秒		秒		秒		秒	
● 机に対して前向き座位(課題6でset positionを決定:椅子から机の距離 cm) start position:6・7のみテーブル								
5. 手を机へ:机の上に麻痺手を乗せる. 教示:「手を机の上のせてください」	秒		秒		秒		秒	
6. 手を箱の上へ:箱の上に麻痺手を乗せる. 教示:「手を箱の上のせてください」	秒		秒		秒		秒	
7. 前方の引き寄せ:肘や手首の屈曲を用いて,机の反対側から重錘(450g)を引き寄せる. 教示:「親指を上に向け,重錘を手前まで引き寄せてください」	秒		秒		秒		秒	
8. 缶の把持・挙上:開封していない缶(350ml)を円筒握りにて,口元まで挙上する. 教示:「缶を把持して,口元まで持っていってください」	秒		秒		秒		秒	
9. 鉛筆の把持・挙上:鉛筆を3指つまみでつまみ上げる. 教示:「親指・人差し指・中指で鉛筆をつまみ,その場で持ち上げてください」	秒		秒		秒		秒	
10. クリップの把持・挙上:クリップを2指つまみでつまみ上げる. 教示:「親指・人差し指でクリップをつまみ,その場で持ち上げてください」	秒		秒		秒		秒	
11. ブロックの積み重ね:ブロック(コース立方体組み合わせテスト)を3つ積み上げる. 教示:「真ん中のブロックへ一つずつつんで重ねてください」	秒		秒		秒		秒	
12. トランプの反転:3枚のトランプを1枚ずつ,指尖つまみで裏返す. 教示:「指先でトランプを裏返してください」	秒		秒		秒		秒	
13. 鍵の操作:鍵穴にさしてある鍵をつまんで,左右に回す. 教示:「鍵を指で左右に回してください」	秒		秒		秒		秒	
14. タオルの折りたたみ:タオルを4分の1に折りたたむ. 教示:「両手で半分に折り,さらに麻痺側で半分にたたんでください」	秒		秒		秒		秒	
● 机に対して前向き立位,患者に高さ110cmの台を設置								
15. 重錘の持ち上げ:椅子に置かれた重錘(1kg)の輪をつかんで持ち上げ,側方にある台の上に置く.	秒		秒		秒		秒	
最終スコア(合計)	0	0	0	0	0	0	0	0

◇Functional Ability Scale (FAS)◇

0 全く動かせない

1 機械的に動かすことは困難だが,随意的動きはみられる. 片手で行う課題でも健側の支持が相当量必要である

2 課題の参加は可能だが,動きの微調整や肢位の変更には健側による介助が必要である. 課題は完結であるが動作スピードが遅く,120秒以上必要. 両手で行う課題では,健側の動きを補助する程度の動きなら可能である.

3 課題の遂行は可能だが,痙性の影響が大きい,動作スピードが遅い,あるいは努力性である.

4 ほぼ健常に近い動作が可能だが,動作スピードがやや遅く,巧緻性の低下,動線の拙劣さが残存している.

5 健常に近い動作が可能.